

平成29年度

松江市一斉ノーマイカーウィークに関する アンケート調査結果報告

(4)(1)で「参加したことがない」と回答された方と、参加したことはありますが途中から参加を取りやめた方に伺います。

参加しなかった・できなかった理由について教えてください。また、参加していただくために必要なことがありましたら併せてご記入ください。

--

【4】ノーマイカーウィーク参加事業所表彰について伺います。

(1) 松江市と松江市公共交通利用促進市民会議では、ノーマイカーウィークの取り組みが特に顕著な事業所に対し、表彰を行っています。これまでの受賞状況をご記入ください

※不明の場合は、おおよそでご記入ください。

☐ 6回以上	☐ 3～5回	☐ 1～2回	☐ 受賞したことがない
-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	------------------------------------

(2) 表彰を受けたことがある方に伺います。

表彰を受けることによるメリットについて、感じておられることをご記入ください

☐ メリットがある

(理由：

)

☐ メリットはない

☐ どちらとも言えない

【5】その他、ノーマイカーウィークに関して、ご不明な点やご要望などございましたらご記入ください。

--

アンケートへのご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが3月6日(火)までに上記送付先までFAXでご返信ください。

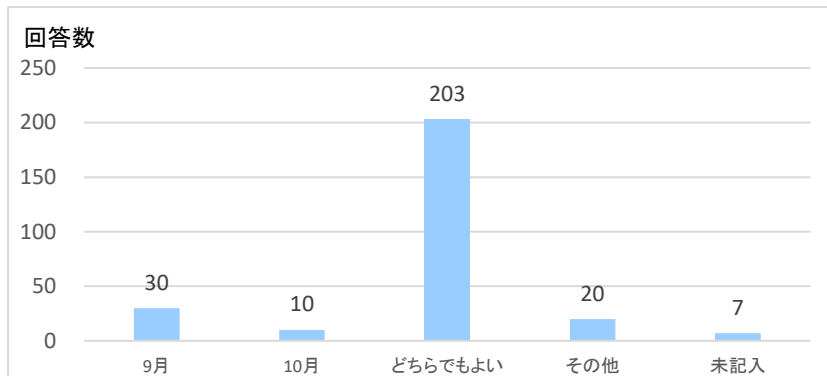
平成29年度 松江市一斉ノーマイカーウィークに関するアンケート結果

1. アンケートの回収状況について

配布対象	回収状況	
	回収数	回収率
702	270	38.5%

2. 松江市一斉ノーマイカーウィークの開催時期について

●全体集計



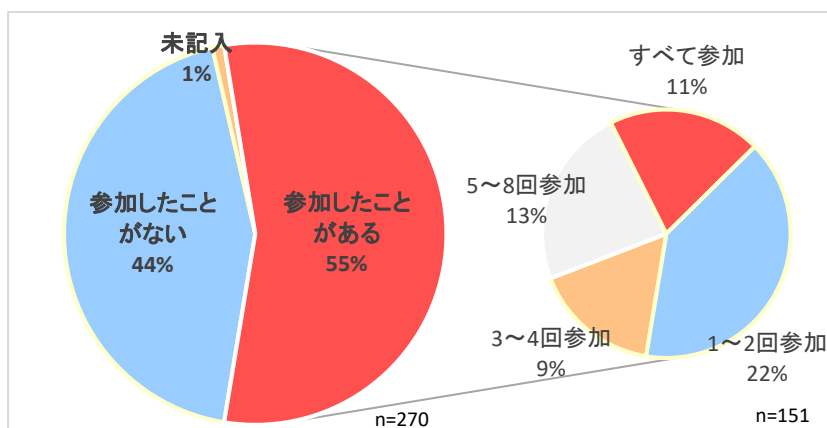
回答項目	回答数	割合
9月	30	11%
10月	10	4%
どちらでもよい	203	75%
その他	20	7%
未記入	7	3%
合計	270	100%

●その他の記述

- ・ 6月頃
 - ・ 業繁期以外
 - ・ どちらでも良いが、月の前半が参加しやすい。
- ※ その他、時期に関わらず参加できないという記述（13件）
- ※ 未記入（4件）

3. ノーマイカーウィークの取り組みについて

(1)これまでの参加状況について



回答項目	回答数	割合
すべて参加	29	11%
5〜8回参加	37	14%
3〜4回参加	25	9%
1〜2回参加	60	22%
参加したことがない	116	43%
未記入	3	1%
合計	270	100%

(2)3年以上継続して参加している場合、継続できた理由について（抜粋）

①可能な範囲で取り組んでいるという理由

- ・ 従業員に対し強制せず、無理のない範囲で協力を呼びかけているため
- ・ たまには「ノーマイカーウィーク」も良いかなという軽い気持ち
- ・ 土日のみなら参加可能なので、今後も土日を含んで欲しいです

②取り組みへの意識・意欲が高いという理由

- ・ 「ノーマイカーウィーク」の趣旨が、弊社で取り組んでいる環境活動および地域貢献活動につながると考えているから
- ・ 交通安全、環境保全、健康増進といった意識をこの取り組みによって感じるからです
- ・ 行政の広報、周知による啓発と意識変化
- ・ 社長の取組意識・意欲が高い
- ・ 職員が積極的に協力してくれるため

③公共交通の利便性が高いという理由

- ・ 通勤経路はバスの便数が割と多いため
- ・ 会社が松江駅の近くにあり、交通の便が良いため
- ・ 一畑電車の場合、通勤時間帯に通勤特急が運行されており、利便性が高い。また、電車に接続して、バスも運行されていて利用しやすい

④取り組みとして定着しているという理由

- ・ 毎年恒例の事業として定着することが出来たため
- ・ グループ会社としての取り組みのため

⑤その他の理由

- ・ 貴市民会議の呼び掛け
- ・ 通勤時の車を変更（徒歩・自転車）可能な人がいる（近距離通勤者）
- ・ 当支店はJR駅から遠く、職員も近隣在住者は少数の為、通勤はどうしてもマイカーになりますが、会議や研修参加時や行事の際の乗り合わせや公共交通機関の利用を励行しました

(3)参加したことがある場合、参加したことによる会社経営にとっての変化、メリット、デメリットについて（抜粋）

①行動変容に関すること

- ・ ノーマイカー通勤について話題になる
- ・ 昨年初めて参加した。意識付けのきっかけにはなったと思う
- ・ 公共交通機関の利用、徒歩通勤を促すきっかけとなった

②会社経営にとってのメリット

- ・ ノーマイカーウィークに参加したことがきっかけで、車通勤から公共交通機関に変更したことにより、通勤時の事故リスクが減った
- ・ 飲酒リスク（翌朝）が無くなった

③会社経営にとってのデメリット

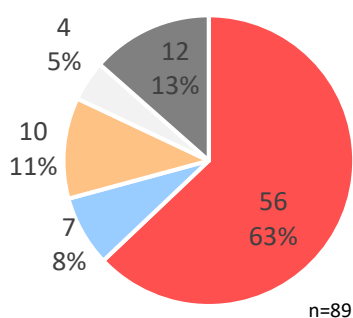
- ・ 通勤時間の増加

④その他の記述

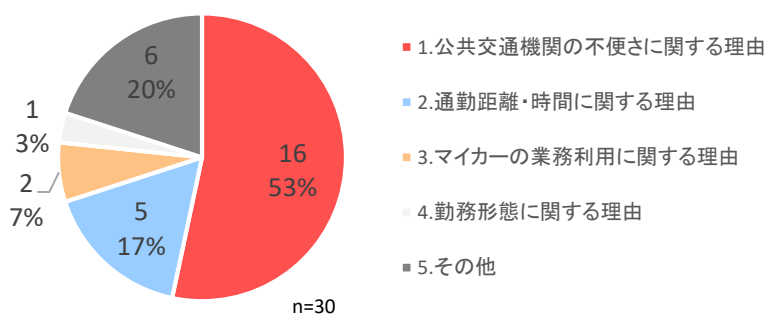
- ・ 休日に行ったため、特に変化はなかったと思うが、環境に対する配慮やバス利用の促進には良いことだと思う
- ・ 昼夜2交代で工場勤務出勤についても時差導入によるタイムテーブル制で取り組んでいること、又、電車等の本数が少ないこともあり、個々の車通勤はやむを得ないものと考えます
- ・ 建設業のため、現場に直接出向く社員が多く、社有車使用のため、変化が出にくい

(4)参加したことがない又は途中から参加を取りやめた場合、その理由や必要な施策について

【参加したことがない】



【途中から参加を取りやめた】



①公共交通機関の不便さに関する理由

- ・ 通勤するための公共交通機関の運行時間がなく利用できない
- ・ 会社までの交通網が確保されて無い。距離も遠すぎる。自転車通勤するには無理がありすぎる

②通勤距離・時間に関する理由

- ・ 自宅が遠方なため、車を使わず出勤することは難しい

③マイカーの業務利用に関する理由

- ・ 業務で自家用車を使用することがあるため

④勤務形態に関する理由

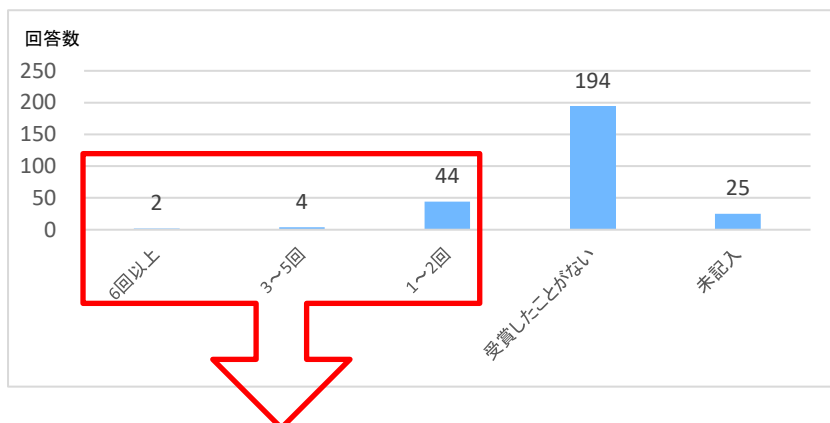
- ・ 勤務時間が早朝や深夜に及ぶことがある

⑤その他

- ・ 本年度は、最初に取り組みへを協力を呼びかけたが、取り組みの結果の集約が出来なかった
- ・ 少数の職員であること、それぞれの生活の状況（子どもの送迎、買い物等）、バス路線の関係、天候にも左右されること（バイク、自転車）、様々な要因で参加出来たり出来なかったりしています
- ・ マイカー通勤者がゼロの為

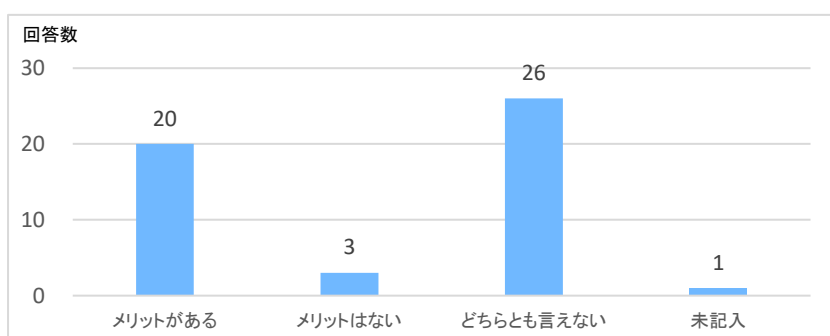
4. ノーマイカーウィーク参加事業所表彰について

(1)これまでの受賞状況について



回答項目	回答数	割合
6回以上	2	1%
3~5回	4	1%
1~2回	44	16%
受賞したことがない	194	72%
未記入	25	9%
合計	269	100%

(2)表彰を受けたことがある場合、表彰を受けるメリットについて



回答項目	回答数	割合
メリットがある	20	40%
メリットはない	3	6%
どちらとも言えない	26	52%
未記入	1	2%
合計	50	100%

●メリットがあると回答した理由（抜粋）

①意識・意欲の向上

- ・ 表彰を受けたことにより、ノーマイカーウィークに参加した社員の達成感がある
- ・ ノーマイカーを考えるきっかけになると思います
- ・ 多少なりとも協力、継続出来たことの達成感と今後のモチベーション
- ・ 自分たちの協力が評価してもらえたという意識を職員が持つことが出来た
- ・ 受賞に伴い、社内の意識が向上した
- ・ 受賞にふさわしい取り組みをしなければとプレッシャーを感じる

②企業の利益

- ・ 企業のイメージアップにつながっていると感じる
- ・ CSRの第三者評価を得られる

③その他

- ・ ノーマイカーウィークの業務連絡発信時に役立つ（発信しやすい）
- ・ 市長から直接表彰状を授与されるので光栄に思う
- ・ 地球温暖化対策に微力ながら貢献していると思えること

5. その他、ノーマイカーウィークに関する自由記述（抜粋）

- 毎年書いておりますが、ノーマイカーウィークの参加者をさらに増やすためには、参加の呼び掛けの際に「紙ベース」での路線図、時刻表等の配布が必須だと思います。「マイカーを控えましょう。公共交通を利用しましょう。利用するための情報は各自でHPなどで一生懸命調べましょう」では、ハードルが高すぎて「利用してみようかな」のステップに進まないと強く思います。インセンティブよりも何よりも基本情報の提供がまずもって求められると感じます。
- 市内飲食店にも周知され、飲食代の割引等お願い出来ないものですか？
- 松江市内でも、中心部をはじめ公共交通の利便性が高い地域とそうでないエリアとでは状況が大きく異なる。公共交通の充実度にあわせて取り組みの項目やメニューなどをきめ細かく検討したうえで、各社に依頼をかけるべき。
- 実施目的や趣旨には大いに賛同するのですが、実際には協力できていなくて申し訳ありません。
- 趣旨には賛成です。松江にはまだまだ自然も豊かですが、地球全体で考えれば将来は心配です。アジア・アフリカなど発展して益々大気汚染は進んでくるでしょう。
- 150事業所の参加とあるが、「様々な方法」とは何なのか？どの地域の事務所が参加しているのか？観測地点とリンクしているのか？バス等の公共交通機関は期間中の利用を促すために、どのような対策をとったのか？対企業ではなく、一般市民に対してどのように運動を周知したのか？結果報告内容は、目標に対してどうだったのか？そもそも一番の目標は何なのか？わかりません。